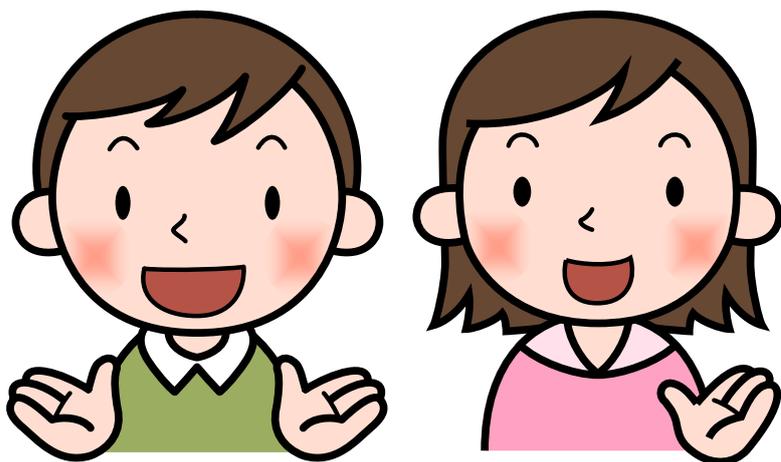


令和6年度

家庭での学習 ハンドブック

自分で決めた目標(何ぐんぐん)に毎日こつこつと粘り強く取り組みましょう。

【本校独自の単位】10分間=1ぐんぐん



札幌市立平岸西小学校

「学び力」の育成に向けて
家庭での学習の習慣化を図る取組

保護者の皆様へ

平岸西小学校では、子どもたちの「学ぶ力」の育成に取り組んでいます。そのためには、ご家庭の協力が必要です。家庭と学校が共に手を携えて子どもを育てていくことによって、子どもの力は何倍にも高まります。家庭での学習の習慣化が、子どもの「学ぶ力」を高めていくと考えています。

もくじ

○家庭での学習への取り組み方は？	1
○1年生の家庭での学習のポイント	2
○2年生の家庭での学習のポイント	3
○3・4年生の家庭での学習のポイント	4
○5・6年生の家庭での学習のポイント	5
○さっぽろっ子「学び」のススメ	6
○「家庭での学習」記録カード〔記載例〕	7～8
○長期休業中の家庭での学習のポイント	9

家庭での学習の意義は？

家庭学習には、次の6つの意義があります。

- 学校で学習した内容をより確かに定着させることができる。
- 「家庭での学習」の習慣が身に付く。
- 自ら学ぼうとする態度が身に付き、学習に対する自信が高まる。
- 脳が活性化し、鍛えられる。
- がまん強さ、根気強さ、集中力が身に付く。
- 家族がふれ合う機会となり、子どもの精神安定につながり、心身も頭脳も健やかに育つ。

親子のふれ合いを深めることにもつながる



発達段階に応じて…

低・中・高学年の発達段階に応じて、「保護者と一緒に」「保護者の励ましと共に」「自分の力で」取り組むようにします。



1日10分間でも続けられ
ば1年で600時間です

時間を意識して取り組む

本校独自の単位として10分間を「1ぐんぐん」とします。「学ぶ力」がぐんぐん伸びてほしいという願いを込めて設定した単位です。

家庭での学習の習慣化のポイント

本校では、「宿題」と「自主学習」を合わせて「家庭での学習」と名付けています。毎日取り組む習慣を身に付けることが大切です。

習慣化を図るためには、次のことが重要です。

- 決まった時刻に学習する。
- 集中して学習に取り組む。(自分で決めた時間をやり続ける。)
- 家庭で学習をしている時は、テレビを消す。
- 整理・整頓された場所で、よい姿勢で学習する。

家庭での学習への取り組み方は？

基本的な考え方

自分から進んで「家庭での学習」に粘り強く取り組む子どもになってほしいと考えます。自ら取り組む学習にするためには、自分で目標を決めて取り組むことが大切です。

◎習慣化がねらいなので、子どもが「時間」を意識して取り組むことが必要です。

【「家庭での学習」を通して育みたい力】

- 家庭と学校がお子さんの「家庭での学習」の取組を支え、励まし、認めることによって**習慣化**を図り、「学ぶ力」を育む。
- 自分で目標（1日何ぐんぐん取り組むか）を決め、毎日その目標を達成できるように粘り強く取り組むことを通して、「自ら・進んで」取り組む**主体性**を育む。

目標をもつことで自ら進んで取り組むのです



ねらいは「習慣化」

子どもの発達段階や実態に応じて**宿題を出します**。必ずする取組と組み合わせることで学習の習慣化を図ることがねらいです。最終的には与えられた学習課題（宿題）が無くても、自分で学習課題を設定して取り組むことができる力を育みたいと考えます。



少しずつ目標を高めていけばよいのです

自分で目標を決めてやり抜く

自分で目標（1日何ぐんぐんに何回取り組むか）を決め、毎日その目標を達成できるように取り組むことが大切です。各学年で取り組んでほしい時間の目安を示していますが、あくまでも目安です。実現できない目標ではなく、**実現可能な目標を設定する**ことが大切です。

高学年であっても「3ぐんぐんに取り組む」と決めたら、その目標に取り組めばよいのです。

【取り組む時間の目安】

1ぐんぐん×学年
※6年生は「6ぐんぐん」

重要

「自分で目標を決める」と言っても、子ども任せではいけません。保護者がお子さんと一緒に「頑張れそうな目標」を考え、最終的に「子どもが自分で決める」ことがポイントです。

保護者のご協力も必要です

保護者のかかわりとしては、朝や夜の短い時間でも、お子さんがその日に家庭での学習に取り組んだ内容を確認したり、頑張ったことを褒めたりしていただくことが重要です。

お子さんが『ぐんぐんカード』に「その日に取り組んだ学習時間（何ぐんぐんか）」を毎日記入していきますので、そのカードにも目を通して**頑張りを褒めて**いただければ幸いです。

子どものやる気を引き出すかわりが…



【家庭での約束を決める】

例えば、「家庭での学習」を終わらせてからゲームの時間にするなどの約束を決めます。

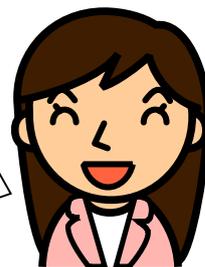
1年生の家庭での学習のポイント

1年生の発達の特徴は？

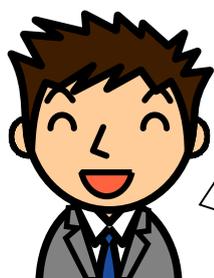
1年生は、次のような発達の特徴があるので、その特徴に合った学習の在り方が大切です。

- いろいろなことに興味をもち、何でも知りがたがっています。
- 一人で家庭学習をやり切らせるためには、家族の手助けが必要不可欠です。
- 成長に個人差が見られます。(他の子どもと違って当たり前です。) 頑張ったことをほめてほしいと思っています。

低学年は「**大人と一緒に**」が基本です



お子さんと一緒に「何をすればよいのか」と**取り組む時間**を決めて、**一定時間集中して取り組む習慣**を身に付けるようにすることが大切です。



家庭での学習を通して**粘り強さ**を高めます

日記を書くポイント

楽しかったことやうれしかったことを素直に自分の言葉で書くことが大切です。

学校の主な学習内容は？

学校では、次のような内容を学習します。

- ひらがな、カタカナ、80字の漢字を学習する。
- 生活と結び付いた学習が多く、具体物を使ったり実際に体験したりしながら学ぶ。
- 繰り返し練習することによって、力の付く学習内容がたくさんある。
- 「鉛筆を正しく持つ」「明日の学習準備をする」「整理整頓する(持ち物の管理をする)」は、学習の基本である。

こんな家庭での学習を…

次のような内容に取り組むことが考えられます。

【国語】

- 「あいうえお」の口形に注意し、句読点に気を付けて大きな声ではっきり読む。
- 「ひらがな、カタカナ、漢字」を、とめ、はね、はらいに気を付けて丁寧にゆっくり書く。
- 本をたくさん読む。(読み聞かせを含む。)

【算数】

- 10の合成、10の分解がスムーズにできるようにする。
- 2ケタのたし算やひき算の計算をする。
- 数の大小がわかり、数直線に表す。
- 日常生活の中で、時刻が読めるようにする。

保護者の「**ほめて励ます**」関わりが大切です



【その他】

- 身近にある物を使って工作を作ったり、想像したことを絵で表したりする。
- 興味のあることを図鑑などで調べる。
- 鍵盤ハーモニカを演奏する。
- なわとびの技に挑戦する。

2年生の家庭での学習のポイント

2年生の発達の特徴は？

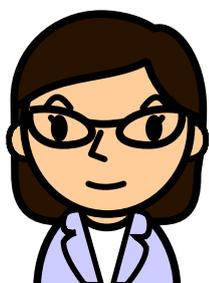
2年生は、次のような発達の特徴があるので、その特徴に合った学習の在り方が大切です。

- 1年間の学校生活の流れを経験し、見通しがもてるようになっていきます。
- できることは自分からしたりします。自分のことは自分でする習慣を付けるのにより時期です。
- 正しい鉛筆の持ち方はこの時期までに身に付けさせることが大切です。

少しずつ自分で取り組むようにすることが…



お子さんと一緒に「何をすればよいのか」と取り組む時間を決めて、自分で決めたことをやり抜く習慣を付けることが大切です。



粘り強く取り組む力を高めることが大切です

学校の主な学習内容は？

学校では、次のような内容を学習します。

- 160字の漢字、かけ算の九九、長さの単位、三角形・四角形について学習する。
- 質問したり質問に答えたり、グループで話し合ったりまとめたりする学習が増えてくる。
- 繰り返し学習することで、身に付く学習内容がたくさんある。
- 学ぶ力の土台となる「返事やあいさつをする」「はきものを揃える」「時間を守る」ことの定着を図る。

日記を書くポイント

質問しながら子どもの気付きを広げるようなアドバイスが重要です。

こんな家庭での学習を…

次のような内容に取り組むことが考えられます。

【国語】

- 姿勢や口形、声の大きさや速さに注意して、はっきりした発音で読む。
- 漢字を熟語にして書いたり、送り仮名を付けて書いたりする。
- 親子で本を読んだり本について話をしたりすることで、本への関心を高める。

【算数】

- たし算やひき算の筆算やかけ算の九九を練習する。
- 間違えた問題は、必ずもう一度やり直す習慣を付けるようにする。

保護者の「ほめて励ます」関わりが大切です



【その他】

- 身近な出来事で不思議に思ったことを調べる。
- 身近にある物を使って工作を作ったり、絵を描いたりする。
- 鍵盤ハーモニカを演奏する。
- なわとびの技に挑戦する。

3・4年生の家庭での学習のポイント

3・4年生の発達の特徴は？

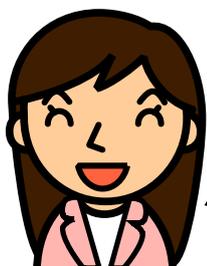
中学年は、次のような発達の特徴があるので、その特徴に合った学習の在り方が大切です。

- 好奇心が旺盛で、行動範囲が広がります。
- 自立心が芽生え、自分でやってみようとするものが多くなりますが、まだ手助けは必要です。
- みんなと行動することを好むとともに、口答えや反抗が少しずつ見られるように…。
- 認めてほめると自信をもちます。

1・2年生での学習の習慣が役立ちます



30～40分間は集中して学習に取り組む力を高めます。ただし、子どもが自分で目標（学習時間）をもち、やりぬくことが基本です。



自分で計画を立てて取り組むようにします

学校の主な学習内容は？

学校では、次のような内容を学習します。

- 「生活科」がなくなり、「社会」「理科」や「総合的な学習」が始まり、学習の内容が大きく広がる。
- 資料集や地図帳、国語辞典や漢字辞典などを使い、自分で調べる学習が多くなる。
- 新出漢字は、3・4年生とも200字である。
- 算数では、分数や小数などの少しずつ抽象的な内容を学ぶ。
- 四則計算（ $+$ $-$ \times \div ）の基礎・基本を学ぶ。

自主学習を始める時期

言葉の意味調べ、計算練習、社会や理科の復習などから始めてみましょう。

こんな家庭での学習を…

次のような内容に取り組むことが考えられます。

【国語】

- 毎日一回は声に出して読む。何日かたつとすらすら読めて会話文にも気持ちがこもってくる。
- 漢字がへんやつくりなどから構成されていることを理解し、正しく書けるようにする。

【算数】

- 筆算では位をそろえて書き、手順を確かめながら正確に、次第に早くできるようにする。
- 他の単位への換算ができるようにする。

【社会】

- 地図帳で都市の位置や県名を確かめたり、地図記号を調べたりする。

興味をもった事柄・出来事について調べます



【理科】

- 学習した内容を振り返り、さらに疑問に思ったことを調べてまとめる。

【その他】

- 簡単な英語の語句を聞き取ったり、話したりする。
- リコーダーを演奏する。

5・6年生の家庭での学習のポイント

5・6年生の発達の特徴は？

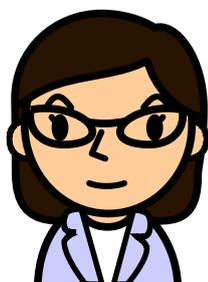
高学年は、次のような発達の特徴があるので、その特徴に合った学習の在り方が大切です。

- 一人前に接してもらっているか、大切にさせているか等、大人の評価が気になります。
- 自分を客観的に見つめたり、友達と自分を比べたりするようになります。
- 考える力も大人並みになり、時には大人への反抗も見られます。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。

焦らず10～20分間から始めてもOKです



50～60分間は集中して学習に取り組む力を高めます。ただし、子どもが自分で目標（学習時間）をもち、やりぬくことが基本です。



見通しをもち計画的に取り組むようにします

学校の主な学習内容は？

学校では、次のような内容を学習します。

- どの教科も学習内容が多くなる。
- 家庭科や外国語の学習が始まる。
- 新出漢字は、5年生で185字、6年生で180字である。
- 筋道を立てて論理的に考えたり、抽象的なものの見方をしたりすることが求められる。
- 自分で課題を見付け、解決していくことのおもしろさを経験させ、「学び方」や「ものの考え方」を育てる。

自主学習に取り組む

好きな学習・得意な学習から始め、毎日取り組むことが大切です。

こんな家庭での学習を…

次のような内容に取り組むことが考えられます。

【国語】

- 詩や俳句、短歌などを暗唱したり朗読したりする。
- 漢字の構成や字形を意識して練習する。

【算数】

- 定規やコンパスを使って正しい図形を書けるようにする。
- 問題の内容を簡単な図に表してから、式を立てる習慣をつくる。

【社会・理科】

- テーマを決めて、資料集・百科事典・インターネット等で調べてノートにまとめる。

もっと知りたいことを調べてまとめると…



【外国語】

- 簡単な英語の語句を聞き取ったり話したり、読んだり書いたりする。

【その他】

- 家庭科で学習した内容を振り返り、生活をよりよくする実践方法を考え、レポートにまとめる。

さっぽろっ子「学び」のススメ

家庭と学校で「学ぶ力」を育てる

さっぽろっ子「学び」のススメは、家庭での学習の習慣づくりに向けて、札幌市教育委員会が作成したリーフレット（A4判）です。学校と家庭が一体となって、子どもの習慣づくりを支えることによって、子どもが自ら目標をもち、粘り強く取り組むようになることを目指します。

「まほうの
かいわ」で
習慣づくり
を図ります



【札幌市の学校教育における子ども観・教育観】

子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。他者との比較ではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきます。



※このリーフレットは、冷蔵庫のドアに貼っておくことをお勧めします。

「まほうのかわい」とは何か？

家庭で大切にしたい5つのかかわりの頭文字を取って「まほうのかわい」としています。

<p>ま</p>	<p>学んだことを一緒に振り返りましょう</p>	<p>「今日は学校でどんな勉強をしたの？」「明日の勉強は？」などと聞き、「今日の勉強の復習を一緒にしようね」「明日の予習を一緒にしようね」などの声をかけましょう。</p>
<p>ほう</p>	<p>方法を一緒に考えましょう</p>	<p>「家庭での学習の時間を一緒に決めようね。」「ステトの見直しをしようね」「一緒に読書をしようね」などの声をかけましょう。</p>
<p>の</p>	<p>伸びを認め、ほめましょう</p>	<p>「毎日、頑張っているね」「計算が早く正確にできてきたね」「〇〇なことにも興味をもてるようになったね」などの声をかけましょう。</p>
<p>かい</p>	<p>改善に向けて生活を一緒に振り返りましょう</p>	<p>「今日勉強したノートをもう一度見てみようか」「どんなところがわからないの？」「わからなかったところをもう一度考えてみようか」などの声をかけましょう。</p>
<p>わ</p>	<p>わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう</p>	<p>「わからないことやできないこともあるよ」「一緒に考えてあげるよ。あきらめないで挑戦してみようね」「今度は新しいことにも挑戦してみるといいね」などの声をかけましょう。</p>

「家庭での学習」記録カード



かてい
「家庭での学習」記録カード
がつ
4月

ねん くみ なまえ
3年4組 名前

ひらぎし にし子

もくひょう
目標

3

ぐんぐん

1日に何ぐんぐんに取り組むのかを決めます

○自分で決めた目標に毎日(土日をのぞく)取り組もう。
○目標よりたくさん取り組んでもよい。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					3 ぐんぐん	2 ぐんぐん
7	4	5	6		8	9
3 ぐんぐん	3 ぐんぐん	4 ぐんぐん	6 ぐんぐん	3 ぐんぐん	2 ぐんぐん	3 ぐんぐん
10	11	12	13	14	15	16
0 ぐんぐん	2 ぐんぐん	3 ぐんぐん	3 ぐんぐん	4 ぐんぐん	5 ぐんぐん	1 ぐんぐん
17	18	19	20	21	22	23
2 ぐんぐん		6 ぐんぐん	2 ぐんぐん		3 ぐんぐん	
24	25	26	27	28	29	30
1 ぐんぐん	3 ぐんぐん	3 ぐんぐん	3 ぐんぐん	4 ぐんぐん	3 ぐんぐん	0 ぐんぐん

3ぐんぐん勉強したら「3」と書きます

目標にとどかなかつたので色をぬれません

目標の3ぐんぐん以上なら色がぬれます

土日は少しでも取り組んだら色がぬれます

ぐんぐんのおきて

- その日に取り組んだ時間(1ぐんぐん=10分間)を記録する。
- 目標の「ぐんぐん」をやりとげたときは、その日の四角の中に好きな色をぬることができる。
- 土日にも「家庭での学習」に取り組んだときは、取り組んだ時間を記録する(土日・祝日は、少しでも取り組んだら色をぬることができる)
- 達成することがむずかしい目標を決めた場合、変えることができる。

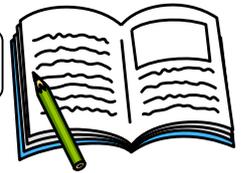


◎このカードは、5月2日(月)に学校に持って来てください。

がつ
4月

「ぐんぐん」たまるカード

ていがくねん
低学年



とく
取り組んだ「ぐんぐん」を
いろ
色ぬりしてためていこう。

ねん 3 年
くみ 4 組
なまえ 名前

さくらまる子

				5					10
			1日ごと取り組んだぐんぐんに色をぬります						20
									30
				35					40
				45					50
				55					60
				65					70
				75					80
				85					90
				95					100
				105					110
		こつこつと取り組んだ分だけふえていきます		115					120
				125					130
				135					140
				145					150

全部ぬった場合は2枚目をお願いします

がっこうもき
◎このカードは、5月2日(月)に学校に持って来てください。

長期休業中の家庭での学習のポイント

「ぐんぐんカード」に記録する

長期休業中であっても、「家庭での学習」の習慣を身に付けるために「ぐんぐんカード」に記録する取組は継続します。基本的には、学校から宿題を出しませんが、クロムブックを活用して取り組む課題を提示したり、数枚のプリントを配付したりするかもしれません。

長期休業中も「習慣化」を図ることが大切です



【取り組み方のポイント】

- これまでに学習した内容を復習して「確実な知識や技能」を身に付けるため、算数の教科書の問題をもう一度やってみる。
- 習った漢字を繰り返し練習する。
- 教科書の内容をまとめる。など

子どもと一緒に振り返る

「まほうのかわい」の『ま』（学んだことを一緒に振り返りましょう）の声かけをお願いします。



長期休業中も自分で決めた時間に取り組む

このハンドブックを活用して取り組む

もし学校からの課題が出たとしても、提示された課題だけでは「学年×10分間」にはなりません。このハンドブックを活用して、自分から進んで課題を見つけて取り組んでほしいと考えます。

長期休業中の**特別な目標**（普段よりも取り組む「ぐんぐん」を増やす）を決めて取り組むことも考えられます。



長期休業中も基本的には毎日「学年×10分間」の家庭での学習に取り組むことが大切です。自分で決めた目標時間をきちんとやり抜くようにします。まとめて何日か分をやっても何も学習しない日をつくるよりも、たとえ「学年×10分間」より短い時間であっても**毎日こつこつと学習する習慣をつける**ことが大切です。

「過干渉」はダメ「過保護」はよい

世間一般に「過保護はよくない」と言われていますが、「過保護」ではなく「過干渉」がよくないのです。「保護」とは、子どもの必要としている安心感を与えるために「見守る」という姿勢のことです。「干渉」は、子どもが必要を感じていないことを親の都合で行うことです。「過保護」はむしろ積極的に行うべきです。

「過保護」は子どもを育て「過干渉」は歪める



一般的に「過保護」と言われている場合の多くは、実は「過干渉」です。